

平成 26 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 27 年 4 月

食 肉 衛 生 検 査 所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	3 頁
8	収入事務処理状況調べ	3～4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	4 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	4 頁
11	不納欠損額調べ	4 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	4～5 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	5 頁
14	財産に関する調べ	6～7 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	8 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	8 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	9 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	9 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
20	備品の処分状況調べ	9 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	10 頁
22	当年度における業務の概要	11～12 頁
23	試験検査の状況	13～14 頁
24	調査研究	14 頁
25	意見・要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

監 査 意 見		処 理 状 況 等
<高額物品等の管理及び使用状況等について> 業務廃止等の事情変更により使用の見込みがなくなった物品については、他用途への活用や処分などの処理方針を速やかに決定するなど適切な対応を行うこと。		当該備品は、下記の理由により今後使用する見込みがないため、処分する方向で関係機関と協議を進めているところである。 ・当該備品を使用する試験は衛生環境研究所に一元化されたこと。 ・平成18年度以降使用しておらず、稼働させるために多大な点検、修理費用が見込まれること。 ・取得後20年を経過した旧式のものであり、近年求められる試験精度に対応できないこと。
物品名	高速液体クロマトグラフ (動物用医薬品残留試験用)	
取得年度	平成6年度	
取得価格	6,489千円	

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
	管理検査担当	・ 獣畜のとさつ又は解体の検査に関すること。※ ・ と畜場の衛生に関すること。
	試験検査担当	・ 食肉等の試験検査に関すること。 ・ 食肉等の衛生に関すること。

※は担当別ではなく職員全員で行なっている。

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
		当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	
	定 員	0	0	13	13			13	13	
	現 員	0	0	(5) 15	(1) 14			(5) 15	(1) 14	育児休業5名
	過不足(Δ)	0	0	2	1			2	1	育児休業職員2名の過員配置
	臨 時 職 員	—	—	—	—			0	0	
	非 常 勤 職 員	1	1	4	2			5	3	事務1名、当該年度の技術職員については育児休業職員3名の代替として、週29時間勤務1名、週58時間勤務を3名で対応。

5 役付職員の調べ

(平成 27年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	井田正己	2	11	
次長	森原秀雄	1	11	出納員 (1年11月)
課長補佐	森川伸昭	0	11	
課長補佐	松村毅	1	11	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
食肉衛生検査事業 決算(見込)額 20,663千円 (財源内訳) 国庫支出金 3,754千円 その他 16,909千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> と畜場法に基づくと畜検査を厳正に行い、と畜場及び食肉処理施設への衛生指導を徹底し、又と畜検査情報を生産者に還元することにより、安全な食肉を消費者に提供する。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度当初から平成27年1月31日までにと畜検査申請された74,781頭の獣畜について、と畜場法に基づきと畜検査を実施し、1頭をと殺禁止、116頭を全部廃棄、40,666頭を一部廃棄処分とした。 と畜検査申請された獣畜のうち、牛896頭についてBSE(牛海綿状脳症)、めん羊9頭、山羊1頭についてTSE(伝達性海綿状脳症)のスクリーニング検査を実施し、すべての獣畜の陰性を確認した。 <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働科学研究費事業「内臓肉処理の高度衛生管理に関する研究」研究班の一員として、平成26年度は主に当該と畜場で処理される牛内臓肉の汚染実態を調査し、汚染拡散のメカニズムを解析するとともに、汚染防止方法の検討を行い、と畜場の衛生指導に役立てた。 <p>ウ 成果</p> <p>(1) 食肉衛生検査</p> <ul style="list-style-type: none"> と畜検査、BSE検査、TSE検査等により、食肉の安全の確保に寄与した。 <p>(2) 施設及び処理作業の衛生確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働科学研究費事業を通じて得た、全国のと畜場の衛生管理に関する最新知見も参考にして、と畜場、食肉処理施設における施設、処理作業の衛生保持を徹底することにより、衛生的な食肉の確保に寄与した。 <p>(3) と畜検査情報等の還元</p> <ul style="list-style-type: none"> フィードバック事業に参加した生産者等へと畜検査データを提供することにより、生産性の向上、家畜飼養管理の改善に役立てていただき、健康な獣畜の出荷に寄与した。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度な検査技術の習得等 当所は調査研究機関ではないものの、と畜検査等を行う上で、常に家畜の疾病動向に目を向け、地道にそれらの調査研究を行うことが大切であり、全国食肉衛生検査所協議会の主催する各種研修会等に職員を引き続き派遣するなど、より高度な検査技術の習得を続ける必要がある。 人員の確保 と畜検査員はと畜場法で獣医師でなければならないと定められているが、近年、獣医師職員数が減少しており、産休・育休時に正職員の異動で対応することが困難になっていることから、獣医師職員の確保が急務である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年1月31日現在)

収入科目			件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節	細節				
衛生手数料	衛生手数料	と畜検査手数料			円	円
		1. 病畜以外の獣畜	74,245			34,002,230
		a. 生後一年未満の牛・馬	3			1,350
		1) 生体50kg以上	3	450		1,350
		2) 生体50kg未満	0	200		0
		b. 生後一年以上の牛・馬	5,878	900		5,290,200
		c. 豚	68,354	420		28,708,680
		d. めん羊・山羊	10	200		2,000
		2. 病畜	536			696,800
		a. 生後一年未満の牛	3	1,300		3,900
		b. 生後一年以上の牛	524	1,300		681,200
		c. 豚	9	1,300		11,700
		3. 証明書の発行	196	420		82,320
		小計	74,977			34,781,350
		衛生試験検査手数料				
食肉の一般試験	63	3,300		207,900		
小計	63			207,900		
目計		75,040			34,989,250	
合計		75,040			34,989,250	

8 収入事務処理状況調べ

- (1) 分担金及び負担金
(2) 使用料

該当なし

(平成27年1月31日現在) (単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		1	109,015	109,015	0	0	鳥取県行政財産使用料条例(第2条、3条)	
		計(行政財産使用料)	1	109,015	109,015	0	0		
目計			1	109,015	109,015	0	0		
合計			1	109,015	109,015	0	0		

- (3) 手数料
(4) 財産収入
(5) 諸収入

該当なし
該当なし

(平成27年1月31日現在) (単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	光熱水費	4	31,237	31,237	0	0	行政財産使用許可(許可条件6)	
		非常勤職員雇用保険料	0	0	0	0	0		
		計(雑入)	4	31,237	31,237	0	0		
目計			4	31,237	31,237	0	0		
合計			4	31,237	31,237	0	0		

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年1月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
食品衛生指 導費								
支出金額が 10万円未満 のもの						47,000	全国食肉衛生検査所協 議会会則	
目 計						47,000		
合 計						47,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成27年1月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初			契約		入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	変更契約 (契約年月日) 契約額	契約 (契約年月日) 契約額	契約 期間	契約 期間			支出 年月日	支出 区分	金額	
食品衛生指導費	単 県	電子天秤、マルツ 子ビーズシヨク 力一保守点検業 務	有限会社 友田大洋堂	254,000	(26. 6. 26) 253,800	26. 6. 26	26. 6. 26	26. 6. 26 (免除)	26. 10. 31	精	26. 11. 11	253,800	見積書を徴し、選 低価格の者を選 択した。	
食品衛生指導費	単 県	空調機器保守点 検	三和商事 株式会社	388,800	(26. 4. 1) 388,800	26. 4. 1	26. 4. 1	26. 3. 14 (免除)	随	精			予定積書を徴し、選 低価格の者を選 択した。	
予定価格が 20万円未満 のもの												326,700		
目計												580,500		
合計												580,500		

14 財産に関する調べ
(1) 公有財産

(平成27年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政	食肉衛生検査所庁舎敷地	西伯郡大山町小竹1291-7	1,483.53	4,809,507	増加	—	—	—	—	—	1,483.53	4,809,507	
計			1,483.53	4,809,507	減少	—	—	—	—	—	1,483.53	4,809,507	
普通財産	—	—	—	—	増加	—	—	—	—	—	—	—	該当なし
計			—	—	減少	—	—	—	—	—	—	—	
合計			1,483.53	4,809,507							1,483.53	4,809,507	

イ 建物

(平成27年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)		価額 (円)
行政	食肉衛生検査所庁舎	西伯郡大山町小竹1291-7	633.45	76,264,105	増加	—	—	—	—	—	633.45	76,264,105	
行政	車庫	西伯郡大山町小竹1291-7	16.15	1,134,000	増加	—	—	—	—	—	16.15	1,134,000	
行政	会議室	西伯郡大山町小竹1291-1	49.68	4,017,000	増加	—	—	—	—	—	49.68	4,017,000	
計			699.28	81,415,105	減少	—	—	—	—	—	699.28	81,415,105	
普通財産	—	—	—	—	増加	—	—	—	—	—	—	—	該当なし
計			—	—	減少	—	—	—	—	—	—	—	
合計			699.28	81,415,105							699.28	81,415,105	

ウ 山林 該当なし

エ 動産 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券類の受払状況

(平成27年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	4,365	70,924	59,686	15,603	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	4,365	70,924	59,686	15,603	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年1月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
50 枚	0 枚	0 枚	50 枚
		0 円	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 了 土地

(平成27年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積 m ²	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	財団書類庫用地	西伯郡大山町小竹1291-7	5.056	平成26年3月26日	平成12年3月10日	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日	丹繰・年額 215	215	西伯郡大山町小竹1291-7 (公財)鳥取県食鳥肉衛生協会
計								215	
普通財産							月額・年額		該当なし
計									
合計								215	

イ 建物

(平成27年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積 m ²	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	財団事務所及び倉庫	西伯郡大山町小竹1291-7	19.845	平成26年3月26日	平成12年3月10日	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日	丹繰・年額 108,800	108,800	西伯郡大山町小竹1291-7 (公財)鳥取県食鳥肉衛生協会
計							月額・年額	108,800	該当なし
普通財産									
計									
合計								108,800	

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			備考
					借受期間	借料(円)		
						単価	本年度の借料	
土地	宅地	会議室用地	西伯郡大山町小竹1291-1	133.00m ²	26.4.1 ~ 27.3.31	丹繰・年額 48,000円	48,000円	西伯郡大山町小竹1291-1 (株)鳥取県食肉センター
合計							48,000円	

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡大山町小竹1291-7	12.5	免除(減免事由4)
普通財産	—	—	—

イ 異動状況

(行政財産)

月別	前月末	当月減		増		当末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	うち減免	人	うち減免	人			
4月	16	0	0	0	0	16	16	円	円	円
5月	16	1	1	0	0	15	15			
6月	15	0	0	0	0	15	15			
7月	15	0	0	0	0	15	15			
8月	15	3	3	2	2	14	14			
9月	14	0	0	0	0	14	14			
10月	14	0	0	0	0	14	14			
11月	14	0	0	1	1	15	15			
12月	15	0	0	0	0	15	15			
1月	15	0	0	0	0	15	15			
2月	15	0	0	0	0	15	15			
3月	15	0	0	0	0	15	15			
合計										

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

(平成27年1月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払額・ 処分費用	
0Aテーブル (サワザプライDSF -9925)	1	H2.3.20	年 8	円 52,118	26.12.5	破損し たため	棄却	使用不能	26.12.5	円 0	
ロータ (久保田 S121 31)	1	H14.2.15	年 5	円 162,750	26.12.5	破損し たため	棄却	使用不能	26.12.5	円 0	
合計	2			214,868						0	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
H26年11月20日 ～ H26年11月27日	・有 (無)		

食肉衛生検査所個別様式

2.2 当年度における業務の概要

(1) 事業実施概要

安全で衛生的な食肉の確保を目的として、(株)鳥取県食肉センターと畜場に搬入された家畜のと畜検査を厳正に実施し、家畜疾病からの食肉への危害の拡散を防止した。

と畜場の衛生対策としてHACCPの概念を取り入れてと畜場法政省令が改正され、平成12年4月1日から完全適用となった大動物処理施設及び、平成14年4月1日から完全適用となった小動物処理施設の改善及びと畜の衛生的解体処理方法について、助言・指導に努めた。

平成13年10月18日から全国一斉に開始されたBSE(牛海綿状脳症)検査及び平成17年10月1日から実施が開始されたTSE(伝達性海綿状脳症)検査について、平成26年度(平成27年1月31日現在)は牛896頭、めん羊9頭、山羊1頭に実施し、それぞれ全てに陰性を確認した。

なお、規則改正により、平成17年8月1日からBSE検査では月齢が21ヶ月以上の牛、及び平成17年10月1日からTSE検査では月齢が12ヶ月以上のめん羊・山羊が対象とされていたが、本県では全頭を対象に検査を実施していた。また、平成25年7月1日の規則改正により、BSE検査では月齢が48ヶ月齢超の牛が対象とされたため、牛の全頭検査を終了し48ヶ月齢超の牛のみ検査を実施している。

(2) と畜検査状況

平成26年度当初から平成27年1月31日までににおける総検査頭数は、74,781頭で、前年度に比較して2,283頭(約3.0%)の減であった。

畜種別内訳は、牛6,402頭(和牛2,048頭、乳牛4,354頭)で前年度に比較して280頭、約4.2%の減であり、豚は68,363頭で2,009頭(約2.9%)の減であった。

その他、とく6頭、めん羊9頭、山羊1頭であった。

(平成27年 1月 31日 現在) (単位:頭)

区 分	和 牛	乳 牛	牛 計	と く	馬	豚	めん羊	山 羊	合 計
当 年 度	2048	4354	6402	6	0	68363	9	1	74781
前年度同期	1812	4870	6682	0	0	70372	10	0	77064
前年度同期比(%)	113.0	89.4	95.8	—	—	97.1	90.0	—	97.0

注 「とく」: 生後1年未満の牛

(3) 検査結果に基づく措置

検査の結果、処分した総頭数は40,783頭(総検査頭数の約54.5%)であった。

(ア) 禁 止

豚1頭を膿毒症でと畜禁止とした。

(イ) 全部廃棄

全部廃棄頭数は116頭で、畜種別では牛86頭、豚30頭であった。原因別では、豚丹毒3頭、膿毒症14頭、敗血症12頭、尿毒症3頭、高度の黄疸14頭、高度の水腫47頭、牛白血病15頭、全身性の筋肉変性8頭であった。

(ウ) 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは40,666頭で、畜種別では牛4,691頭、とく4頭、豚35,967頭、めん羊4頭であった。

(4) と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ解体禁止又は焼棄したものの原因

(平成27年1月31日現在)(単位:頭)

区分	と畜場とさつ頭数	処 理	処 分 実 頭 数	疾 病 別 頭 数										計										
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌病	その他	豚コレラ	ウツ		トキソプラズマ病	原虫	その他	寄生虫病	腫瘍	他の	中 毒 諸 症	病 よ る 汚 染 又 は 炎 症 産 物 に	変 性 又 は 萎 縮	そ の 他
牛	6,402	禁止	86																				0	
		全部焼棄	4,691																					86
		一部焼棄	4,777																					86
とく	6	禁止																					0	
		全部焼棄	4																				0	
		一部焼棄	4																				0	
馬	0	禁止																					0	
		全部焼棄																					0	
		一部焼棄																					0	
豚*	68,363	禁止	1																				1	
		全部焼棄	30																				30	
		一部焼棄	35,967																				30	
めん羊	9	禁止																					0	
		全部焼棄	4																				0	
		一部焼棄	4																				0	
山羊	1	禁止																					0	
		全部焼棄																					0	
		一部焼棄																					0	
計	74,781	禁止	1																				1	
		全部焼棄	116																				116	
		一部焼棄	40,666																				116	
計*	40,783	禁止	0																				0	
		全部焼棄	116																				116	
		一部焼棄	40,666																				116	
計	47,639	禁止	1																				1	
		全部焼棄	32,217																				32,217	
		一部焼棄	32,217																				32,217	
計	47,756	禁止	15																				15	
		全部焼棄	3,896																				3,896	
		一部焼棄	3,896																				3,896	

* とく 生後1年未満の牛

* 疾病別頭数の計と処分実頭数の相違については疾病が重複するため

* 豚のと畜場とさつ頭数についてはとさつ禁止の1頭を除く

23 試験検査の状況

(1) 精密検査

精密検査の実施頭数は708頭で、検査のべ件数は3827件と前年度と比較して187件（約4.7%）の減であった。

と畜検査に係る精密検査

（平成27年1月31日現在）（単位：頭、件）

		検査頭数	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
敗血症	牛	5	64	64			128
	とく						
	豚	10	121	119			240
	小計	15	185	183			368
膿毒症	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
尿毒症	牛	5				10	10
	とく						
	豚						
	小計	5				10	10
黄疸	牛	16				16	16
	とく						
	豚	2				2	2
	小計	18				18	18
腫瘍	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
炭疽	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
ヨ－ネ病	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
白血病	牛	16		16	211		227
	とく						
	豚						
	小計	16		16	211		227
豚丹毒	牛						
	とく						
	豚	4	28	28			56
	小計	4	28	28			56
一般臨床	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
抗菌性物質残留検査	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
枝肉の衛生状況検査 (0157及び生菌数)	牛	331		1,664			1,664
	とく						
	豚	296		1,438			1,438
	小計	627		3,102			3,102
食品汚染物質	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
残留物質モニタリング	牛	20				40	40
	とく						
	豚	3				6	6
	小計	23				46	46
合計	牛	393	64	1,744	211	66	2,085
	とく						
	豚	315	149	1,585		8	1,742
	合計	708	213	3,329	211	74	3,827
前年度同期	合計	716	277	3,395	269	73	4,014

(2) 受託検査

(株)鳥取県食肉センターから大腸菌数検査を63件受託し、検査した。

(平成27年1月31日 現在) (単位:頭、件)

検査区分		受託件数	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
項目							
ふきとり検査	牛	21		21			21
	豚	42		42			42
合計		63		63			63
前年度同期		63		63			63

2.4 調査研究

(平成27年1月31日 現在) (単位:頭、件)

検査区分		検査頭数 (件数)	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
項目							
一般病理検査		16			114		114
微生物汚染防止		17		570			570
O157 PCR							
排水調査							
拭き取り(汚染源追求)		40		80			80
精度管理		4		14			14
残留物質							
合成抗菌剤							
疾病原因調査							
合計		77		664	114		778
前年度同期		283		3,130	69		3,199

2.5 意見・要望等

該当なし